



熊谷市立大麻生小学校

グランドデザイン2023

学校教育目標

目指す児童像

重点目標と具体的な取組

生徒指導の基本方針

家庭・地域との連携

学校経営方針

- 「授業中こそ子供と向き合う時間」
誰にでも分かる授業をして、子供たち一人一人の学力を伸ばします。
- 「徹底的にかまう」
子供たちとの関わりの中で、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養います。
- 「信頼がすべての基盤」
子供・保護者・地域との信頼関係を基盤とした教育活動を展開します。

目指す学校像

- 「児童や保護者が『大麻生小でよかった』と思える学校」
・児童が学びを楽しみ、学力が向上する学校
・児童の笑顔があふれる学校
・21世紀の社会に通用する子供を育成する学校
・保護者や地域住民の期待に応えられる学校

知・徳・体のバランスのとれた学力を身に付け、21世紀を豊かに生きる児童の育成

知

進んで学び、よく考える子

- ・自ら学ぼうとする姿勢を持ち、思考力・判断力・表現力を伸ばす児童

徳

思いやりがあり、友達と仲良くできる子

- ・思いやりの心を高め、友達を大切にできる児童
- ・あいさつと返事がしっかりできる児童

体

最後までやり抜く、たくましい子

- ・体を鍛え、困難なことにもねばり強くたくましく立ち向かえる児童・自分の身を自分で守れる児童

- 【進んで学びよく考える子のために】
- ◎主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践していきます。
 - ◎大麻生小スタンダードにより、学習・生活規律の徹底を図ります。（児童評価90%以上）
 - ◎教育指導計画を着実に実施します。（教材研究の充実による授業改善 年3回）（学校行事、学年行事の見直し 2ヶ月毎）
 - ◎ICTの活用を含めた学校研究を推進します。（授業でのタブレット活用週3日以上）
 - ◎学力向上大麻生スタイルの学校研究を一層充実させ、教員の授業力向上を図ります。（確かめテストの実施→評価→取組 年2回の実施）

- 【思いやりがあり、友達と仲良くできる子のために】
- ◎児童の道徳的実践力を育成します。
 - ◎児童の実生活における道徳の「見える化」を記録・評価していきます。（善行賞表彰 年間延べ100人以上）
 - ◎いじめ・差別をしない、許さない児童を育成します。（生徒指導・人権・特別支援教育）（児童評価90%以上）
 - ◎「4つの実践と3減運動」による生活改善と「スマホ使い方宣言」の徹底を図ります。（ネットトラブルについての啓発授業実施）

- 【最後までやり抜くたくましい子のために】
- ◎柔軟性、走力を向上させます。（県平均超種目90%以上）
 - ◎体力課題を確認し、その改善を図る体育授業を実践します。（第1回新体力テスト→評価→取組→第2回新体力テスト）
 - ◎交通事故、不審者事故防止の指導を徹底します。（年間事故ゼロ）
 - ◎避難訓練により「自助」「共助」の力を身に付けさせます。（ショート訓練を含め 年6回実施）

【学校研究課題】 自分の思いや考えを豊かに表現し、実践できる麻っ子の育成

【学研究の土台】 英語ラウンドシステムの考え方 学習内容の明確化

<生きる力の土台>「熊谷の子どもたちは、これができる！『4つの実践』と『3減運動』」の推進

「新熊谷プロジェクト～教科横断的でオーセンティックな授業」の推進～
◎総合的な学習の時間を中核として汎用的能力を育成する

- ◎是々非々で「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを大切にする。
- 1 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。（「わかった」「できた」「ほめられた」の体験）
- 2 徹底してかまってあげます。（児童全員が「自分は先生にかわいがられている」と思うように）
- 3 いざという時、全員で動きます。（「大麻生小学校」という組織への信頼を高める）
- 4 一秒でも早くプロの手へ渡します。（関係機関と連携する）

保護者・地域との信頼関係の構築のために

- 1 コミュニティ・スクールを推進します。
・学校運営協議会の充実
- 2 積極的に情報発信をします。
・ホームページの更新回数200回以上
・学校公開の機会10回以上 等
- 3 中学校との連携に努めます。
・6年生の部活体験 等
- 4 地域とともに子供たちを育みます。
・登下校の見守り活動
・稲作体験活動
・昔遊び体験 等

スマホ使い方宣言

【前文】

スマートフォン・携帯電話等はインターネットにつなぐことができる大変便利な道具です。しかし、一歩使い方が違えば、自分や周りの人を傷つけます。私たちは、スマートフォン・携帯電話等を原則持ちません。もし、スマートフォン・携帯電話等を使う場合は、使い方のルールを家族と約束し、誰も傷つけないこと、賢く上手に使うことを誓います。

自分や周りの人の情報を守ります。

インターネット上に情報を公開することは、全世界に情報を配信していることと同じです。自分や周りの人を守るためにも、名前や写真・動画、住所など、個人を特定できる情報をインターネット上に公開することはしません。

他人を傷つけない。

画面の向こうには相手がいる。「バカ」「うざい」「ムカつく」「死ぬ」等、相手を傷つけるような言葉、自分が書き込まれて嫌なことや嘘を絶対に書き込みません。また写真・動画なども勝手に載せたり、拡散したりしません。

様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。

インターネット上の情報全てが正しいわけではありません。中には大げさな表現や嘘等も混じっています。一つの情報だけを見て判断するのではなく様々な角度から情報を入手し、正確な判断をします。

インターネットにつながる機器にはフィルタリングを設定してもらいます。悪質コンテンツによる被害（出会い系や暴力描写等の有害なサイト）や、ウイルスによる情報流出等を防止するため、保護者にフィルタリングを設定してもらいます。

熊谷市立大麻生小学校児童会

（令和元年10月1日作成）

この宣言は、市内16中学校の代表生徒で検討した原案をもとに、大麻生小学校の児童会が作成したものです。